

2022年2月22日

<KDDIトピックス>

KDDI株式会社

## ファッション専攻学生のデザインを3DCG化、 GINZA 456でデジタル展示会を開催

～将来を担う学生にサステナブルなモノづくりの機会を提供～

KDDIは2022年2月22日から2022年3月31日まで、ファッション専攻の学生にサステナブルなモノづくりの機会を提供するため、学生がデザインした作品の3DCGモデルをデジタル展示する「XR Fashion Exhibition」（以下本展示会）を「GINZA 456 Created by KDDI」（以下GINZA 456）で開催します。

展示会場となるGINZA 456では、スマートグラス越しにデジタル作品が目の前に出現するほか、実際に近づいたり回り込んだりしながら観ることもでき、その場に実在の作品が存在するかのような体験ができます。



本展示会は、ファッション業界の将来を担うベルエポック美容専門学校（所在地:東京都渋谷区、学校長:大谷 啓一、以下ベルエポック専門学校）の学生に対して、年間4万5千トンの端材などが排出される（注1）アパレル業界の廃棄課題の理解促進を目的に、スマートグラスやXRなどのテクノロジーを活用したサンプルレスなモノづくり体験の機会を提供しました。

本展示会の作品は、ベルエポック美容専門学校の学生のデザインを東京ファッションテクノロジーラボ（所在地:東京都渋谷区、代表取締役:市川 雄司）の協力のもと、スマートグラスを通して生地感などを確認できるように3DCGでデジタル化しました。

本展示会のデジタル作品は、GINZA 456のほか、「au XR Door」を通じてご自宅などでも体験することもできます。

なお本展示会は、KDDIのクリエイティブチーム「au VISION STUDIO」が一般社団法人渋谷未来デザイン（所在地:東京都渋谷区、代表理事:小泉 秀樹、以下 渋谷未来デザイン）とともに2021年11月から開始したプロジェクト「Fashion meets Technology in SHIBUYA」の第1弾として実施しています。

今後もKDDIは、昔も今もファッションをはじめとした新たな文化の発信地である銀座に位置するGINZA 456において、今後もテクノロジーを活用したサステナブルで新しいファッション展示を進めていきます。

## ■本展示会について

### 1. 概要

- ・KDDIは、アパレル業界課題のひとつである製造過程でのサンプル廃棄物問題などを解決するため、5GやXR、スマートグラスなどテクノロジーを活用したアパレル業界のDXを支援しています。
- ・このたび、ベルエポック美容専門学校でファッションを学ぶ学生からデザインを募集し、東京ファッションテクノロジーラボの協力のもと、学生のデザインを3DCG化しました。本展示会ではこの3DCGをデジタル作品としてスマートグラスを通じて鑑賞することができます。
- ・KDDI総合研究所が開発したVPS（注2）を活用することで、目の前に実物があるかのような感覚を作り出し、体験者が実際に近づいたり回り込んだりしながら素材感を確認することができます。
- ・作品のデジタル化により、サンプル製造にかかる時間やコスト、廃棄物を削減することができます。また、作品のデジタル化により実物の展示が不要となるため、展示ロケーションの柔軟性が高まり、作品テーマに合わせた場所での展示会の実施など、表現方法の拡張にも繋がります。

### 2. 期間

2022年2月22日から2022年3月31日まで

### 3. 場所

GINZA 456 1階展示スペース

### 4. 展示会場以外での鑑賞方法

遠隔地をXRで体験できるサービス「au XR Door」でご自宅などからでも本展示会のデジタル作品を鑑賞できます。

詳細はこちら ([https://www.xrdoor.xreality.au.com/top/#/detail/VirtualFashion/Belle\\_2022](https://www.xrdoor.xreality.au.com/top/#/detail/VirtualFashion/Belle_2022))

### 5. 協力

- ・ベルエポック美容専門学校（URL：<https://www.belle.ac.jp/>）

学校法人東京滋慶学園が運営する専門学校です。カリキュラムに3Dモデリングの授業を導入するなど、アパレル産業のDXを推進する技術の認知拡大、新たなクリエイターの輩出、学生たちの技術の向上に取り組んでいます。

・東京ファッションテクノロジーラボ (URL: <https://tfl.tokyo/>)

日本初のファッションテック養成学校です。変革期を迎えた国内ファッション産業をICTや最新のデジタルテクノロジーを活用して変えていく人材の育成を目指しています。

・株式会社Mawari (URL: <https://mawari.io/>)

XRコンテンツのストーリーミング技術とVPSの連携に取り組んでいる会社です。本展示会では、KDDIと共同でスマートグラスを通じてデジタル作品を鑑賞できるアプリを開発しました。

(参考)

■「GINZA 456 Created by KDDI」について

au 5Gや先端テクノロジーを活用しお客さまの想像を体験に変え「おもしろいほうの未来」が体感できるコンセプトショップです。1階では、最新の5Gスマートフォンやau公式アクセサリ、KDDIが提供する5G関連アイテムを楽しめ、地下1階ではau 5Gや先端テクノロジーを活用したコンテンツをご体感いただけます。また、2階ではau/UQの最新ラインアップの展示や、商品購入に関するご相談やご契約、アフターサービスの手続きが可能です。

「GINZA 456 Created by KDDI」公式サイト <<https://ginza456.kddi.com/>>

Instagram: @ginza456\_official

Twitter: @GINZA456\_KDDI

■au VISION STUDIO (<https://au5g.jp/visionstudio/>) について

「au VISION STUDIO」は、今後の社会において実現させたいことを5つの取り組みとして掲げ、5GやXRなどの先端テクノロジーとアイデアに加え、これまでKDDIが取り組んできたXR施策の知見をもとに、先進的な体験の企画、制作、社会実装に至るまでを1つのチームとして担います。

■au XR Doorについて

カメラ越しに現れるARドアを通り、360度のVR空間を自由に歩き回れるサービスです。スマートフォン単体で利用でき、家にいながら店舗や観光地、宿泊施設などにあたかも訪れたような体験ができます。新型コロナウイルス感染症の影響により外出等が制限される中、自宅にいながらさまざまな擬似体験を可能にし、幅広い生活シーンで新しい体験価値を創造していきます。

■これまでのアパレルDXの取り組み

2021年9月10日 KDDIトピックス

5G、バーチャルヒューマンなどを活用したアパレル業界のDXを支援する取り組みを開始  
～商品の企画・デザイン時のサンプル制作をバーチャル化～

<https://news.kddi.com/kddi/corporate/topic/2021/09/10/5401.html>

2021年11月9日 KDDIトピックス

ファッション専攻の学生にバーチャル技術でサステナブルなモノづくり体験を提供する取り組みを開始  
～KDDIと渋谷未来デザインによる「Fashion meets Technology in SHIBUYA」を始動～

<https://news.kddi.com/kddi/corporate/topic/2021/11/09/5514.html>

## ■KDDIの取り組み

KDDIは、これからも事業を通じてさまざまな社会課題の解決に取り組む続けるという決意をこめ、2030年を見据えたKDDIのSDGs「KDDI Sustainable Action～私たちの『つなぐチカラ』は、未来のためにある～（<https://www.kddi.com/corporate/csr/sdgs/>）」を策定しました。このたびの取り組みは、「命をつなぐ～地球環境の保全～」「暮らしをつなぐ～次世代の育成～」に該当します。

(注1) 出典：環境省 サステナブルファッション ([https://www.env.go.jp/policy/sustainable\\_fashion/](https://www.env.go.jp/policy/sustainable_fashion/))

(注2) VPS (Visual Positioning Service):従来のGPS (Global Positioning System、全地球測位システム)の発展系と位置付けられ、現実世界のデジタルツインとなる3Dマップ(3Dメッシュや3D点群など)と、スマートフォンやスマートグラスに搭載されたカメラ越しの画像とを照合し、向きや方位を含む高精度な位置情報を特定します。

以 上